

資料提供(投げ込み) 令和3年7月1日(木)	
場所 津市政記者室	
事務担当課	
所 属	職・氏 名
市民部 市民交流課 (電話059-229-3142)	交通安全担当主幹 前川 大治

## 令和3年夏の交通安全県民運動の実施について

### 1 夏の交通安全県民運動

#### (1) 実施期間

令和3年7月11日(日)～7月20日(火)

#### (2) 運動の重点

- ア 高齢者と子どもの交通事故防止
- イ 横断歩道における歩行者優先の徹底
- ウ シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- エ 飲酒運転の根絶

### 2 交通安全パイロット校の指定

#### (1) 指定校

津市立白山中学校

#### (2) 日時

令和3年7月12日(月) 8時30分～8時45分

(7時50分から校区内通学路において街頭指導を実施します。)

#### (3) 場所

白山中学校 会議室

#### (4) 内容

- ア 主催者挨拶
- イ 交通安全パイロット校の指定書交付
- ウ シンボル像・のぼり旗・交通安全啓発物品の授与

※ 新型コロナウイルスの感染拡大状況により中止する場合があります。

### 3 まもってくれてありがとう運動モデル校の指定

#### (1) 指定校

津市立高野尾小学校

#### (2) 日時

令和3年7月13日(火) 8時20分～8時30分

(7時20分から校区内通学路において街頭指導を実施します。)

#### (3) 場所

高野尾小学校 多目的ホール

(4) 内容

- ア 主催者挨拶
- イ 指定書交付
- ウ 横断旗授与

※ 新型コロナウイルスの感染拡大状況により中止する場合があります。

4 交通安全メッセージ動画の放映

(1) 日時

令和3年7月11日（日）～7月20日（火）

放映時間はランダム

(2) 場所

イオンモール津南 1階「つどいの広場（1-A）」大型デジタルサイネージ

イオンタウン津城山 1階「森の広場」巨大スクリーン

(3) 内容

上記日時・場所において、津市内の園児、小中学校生徒、民間事業所社員及び津市交通安全対策会議委員等が出演した交通安全メッセージ動画を放映します。

令和3年

# 夏の交通安全県民運動

7月11日(日)～7月20日(火)



三重県交通安全県民運動スローガン  
思いやる やさしい心で 走る三重  
～気持ち良い 運転マナーの <sup>うま</sup> 美し国～

- ◆高齢者と子どもの交通事故防止
- ◆横断歩道における歩行者優先の徹底
- ◆シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ◆飲酒運転の根絶



三重県・三重県交通対策協議会

〒514-8570 三重県環境生活部 くらし・交通安全課 TEL059-224-2410 FAX059-224-3069

夏の交通安全県民運動 実施要綱はこちら→



三重県 交通安全



# 夏の交通安全県民運動

本運動を通じ、日頃の自身の運転や道路での行動を見つめ直し、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけることで、交通事故防止の徹底を図りましょう。

## 運動の重点

### 1 高齢者と子どもの交通事故防止

交通事故死者数全体の6割を占める高齢者と、次代を担う子どものかげがえのない命を社会全体で交通事故から守りましょう。

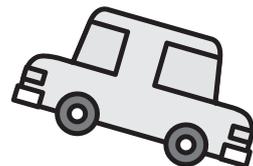


### 2 横断歩道における歩行者優先の徹底

一般社団法人日本自動車連盟が昨年調査した、信号機のない横断歩道での歩行者横断時における車両の一時停止率は27.1%で、未だに約7割の車両が停止していないのが現状です。

横断歩道での歩行者優先は「マナー」ではなく、法律に定められた「ルール」です。

ドライバーは、横断歩道における歩行者優先を徹底しましょう。



### 3 シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

令和2年中、自動車乗車中の死者23人中12人がシートベルト非着用で、うち10人がシートベルトを着用していれば助かっていたと推定されています。

また、交通事故で負傷した幼児60人中51人は自動車同乗中に負傷しています。

シートベルトは交通事故から命を守る命綱です。

命を守るために、車に乗ったら全ての座席でシートベルトを着用しましょう。

そして、6歳未満の幼児を乗車させるときは、チャイルドシート等を使用しましょう。



### 4 飲酒運転の根絶

三重県では、「三重県飲酒運転0(ゼロ)をめざす条例」により、飲酒運転の根絶に向けた取組を推進していますが、令和2年中、飲酒運転による交通死亡事故が5件発生するなど未だに根絶に至っていません。

飲酒運転は犯罪です。

県民一人ひとりが「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない」という強い自覚を持って社会全体で飲酒運転を根絶させましょう。

